PC98-NXシリーズ

NEC

VersaPro/VersaPro J

はじめにお読みください

タイプVL
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを総称して、Windows XPと表記します。

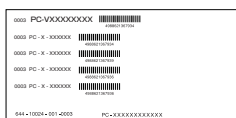
なお本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

1 型番を控える

型番を控える

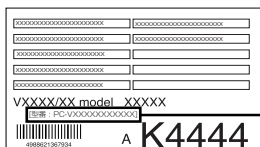
梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番(15桁の型番です)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。

スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、p.5「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型番	クロック周波数
	16	1.6GHz
	17	1.73GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型番	CPU
	F	インテル® Pentium® M
	M	インテル® Celeron® M

❹ディスプレイの種類を表しています。

✓	型番	ディスプレイ
	V	14.1型SXGA+液晶ディスプレイ
	X	14.1型XGA液晶ディスプレイ

❺インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型番	インストールOS	選択アプリケーション
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003

❻CD-ROM系の種類を表しています。

✓	型番	CD-ROM系
	R	CD-R/RW with DVD-ROM
	1	CD-ROM

❼合計メモリの容量、通信機能の種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>合計メモリ</th><th>通信機能</th></tr>
<tr><td></td><td>T</td><td>512MB　DDR2 SDRAM
（オンボード512MB）</td><td>LAN&無線LAN
(IEEE802.11a/b/g)
&FAXモデム</td></tr>
<tr><td></td><td>2</td><td>512MB　DDR2 SDRAM
（オンボード512MB）</td><td rowspan="2">LAN&FAXモデム</td></tr>
<tr><td></td><td>6</td><td>1GB　DDR2 SDRAM
（オンボード512MB＋512MB）</td></tr>
</table>

❽ハードディスクの容量、再セットアップ用媒体の種類、セキュリティ機能1を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>ハードディスク容量</th><th>再セットアップ用媒体</th><th>セキュリティ機能1</th></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td>40GB</td><td rowspan="2">再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納</td><td rowspan="4">内蔵指紋センサ
（ライン型）</td></tr>
<tr><td></td><td>B</td><td>80GB</td></tr>
<tr><td></td><td>7</td><td>40GB</td><td rowspan="2">再セットアップ用CD-ROM添付</td></tr>
<tr><td></td><td>8</td><td>80GB</td></tr>
</table>

※上記の❶〜❽のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にp.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型番	クロック周波数
	16	1.6GHz
	17	1.73GHz

❸CPUの種類を表しています。

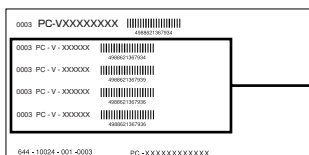
✓	型番	CPU
	F	インテル® Pentium® M
	M	インテル® Celeron® M

❹ディスプレイの種類を表しています。

✓	型番	ディスプレイ
	V	14.1型SXGA+液晶ディスプレイ
	X	14.1型XGA液晶ディスプレイ

❺ インストールOSの種類を表しています。

✓	型番	インストールOS
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番は、どのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されている選択必須と選択したモデルやオプションによってステッカーに記載される選択任意があります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-N-HD□□□□、PC-J-HD□□□□はハードディスクの容量を表しています(選択必須)。

✓	型番	ハードディスクの容量
	F40L	40GB
	F80J	80GB
	F10J	100GB

❷PC-N-BA□□□J、PC-J-BA□□□Jはバッテリパックを表しています(選択必須)。

✓	型番	バッテリパック
	LL1	リチウムイオンバッテリ
	LL2	リチウムイオンバッテリ&セカンドバッテリパック

❸PC-N-MB□□□L、PC-J-MB□□□Lは合計メモリの容量を表しています(選択必須)。

✓	型番	合計メモリの容量
	M15	1,536MB　DDR2 SDRAM(オンボード512MB+1GB)
	M10	1GB　DDR2 SDRAM(オンボード512MB+512MB)
	L76	768MB　DDR2 SDRAM(オンボード256MB+512MB)
	M51	512MB　DDR2 SDRAM(オンボード512MB)
	L51	512MB　DDR2 SDRAM(オンボード256MB+256MB)
	L25	256MB　DDR2 SDRAM(オンボード256MB)

❹PC-N-CD□□□□、PC-J-CD□□□□はCD-ROM系を表しています(選択任意)。

選択しなかった場合は、CDレスモデルになります。

✓	型　番	CD-ROM系
	SCDJ	CD-ROM
	LDSL	DVDスーパーマルチドライブ
	LRDL	CD-R/RW with DVD-ROM

❺PC-N-NE□□□J、PC-J-NE□□□Jは通信機能を表しています(選択任意)。

✓	型番	通信機能
	L3L	無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

❻PC-□-FDFDDHはFDDを表しています(選択任意)。

選択しなかった場合は、FDレスモデルになります。

✓	型　番	FDD
	N、またはJ	USB FDD

❼PC-N-AP□□□□、PC-J-AP□□□□は選択アプリケーションの種類を表しています(選択任意)。

✓	型　番	選択アプリケーション
	SSEF	Office Personal 2003
	SPEG	Office Professional Enterprise 2003

❽PC-N-PD□□□□、PC-J-PD□□□□はマウスを表しています(選択任意)。

✓	型　番	マウス
	MULH	光センサーUSBマウス
	MUSJ	USBマウス

❾PC-□-FPLXELはセキュリティ機能1を表しています(選択任意)。

✓	型　番	セキュリティ機能1
	N、またはJ	内蔵指紋センサ(ライン型)

❿PC-□-SCBMPLはセキュリティ機能2を表しています(選択任意)。

✓	型　番	セキュリティ機能2
	N、またはJ	SecurePack(InfoCage/モバイル防御付)

⓫PC-N-2H□□□□、PC-J-2H□□□□はセカンドハードディスクの容量を表しています(選択任意)。

✓	型　番	セカンドハードディスクの容量
	D40J	40GB
	D80J	80GB
	E40L	40GB(StandbyDisk付)
	E80L	80GB(StandbyDisk付)

⓬PC-N-BC□□□L、PC-J-BC□□□Lは再セットアップ用媒体を表しています(選択任意)。

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	LXP	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Professional用)
	LXH	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Home Edition用)

※上記の❶〜⓬の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2　添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

- 梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。
- 本機を箱から取り出すときは、マニュアル類が入っている面が下になるように、箱を置き直してください。

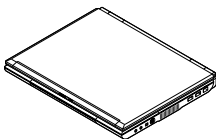
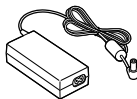
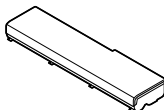
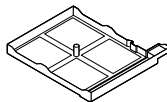
❶箱の中身を確認する

p.2の1、p.5の1またはp.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□ は、各々1つにパックされています。

□**保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)**

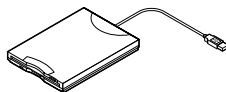
保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

□**はじめにお読みください(このマニュアルです)**

□ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定&修理に関するご案内

アプリケーションでOffice Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise Edition 2003を選択した場合添付

□選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal Edition 2003、または
Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
（p.3 1-❺、またはp.7 2-❼で選択アプリケーションの種類がわかります）

FDDを選択した場合添付

□フロッピーディスクドライブ

マウスを選択した場合添付

□マウス

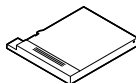
再セットアップ用媒体を選択した場合添付

□再セットアップ用CD-ROM

CD-ROM系の種類でCD-R/RW with DVD-ROM、またはDVDスーパーマルチドライブを選択した場合添付

□WinDVD CD-ROM / DigitalMedia / DLA CD-ROM

セカンドハードディスクを選択した場合添付

□セカンドハードディスク

セカンドハードディスクでStandbyDisk付を選択した場合添付

□StandbyDisk 2000-XP Pro v3 CD-ROM
□ユーザー登録書（シリアル番号の記載があります）

❷本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-VX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元にご連絡ください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3　使用場所の決定」へ進んでください。

3 使用場所の決定

使用場所を決める

○ 使用に適した場所

使用に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度5℃～35℃、湿度20％～80％(ただし結露しないこと)

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない(机の上など)

× 使用に適さない場所

次のような場所では使用しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス(オゾンガス)などが発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本機底面または側面にある通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

使用場所が決まったら……

使用場所が決まったら、本機の使用と添付品の接続を行います。
また、本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本機を移動するときは……

本機に接続している、全てのケーブル、コード（電源コードなど）を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で使用場所の決定は完了です。
次のページの「4　添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

- **LANケーブル(別売)は接続しない、無線LAN機能はオフにする**

  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

  また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください(工場出荷時の状態では、無線LAN機能はオフになっています)。

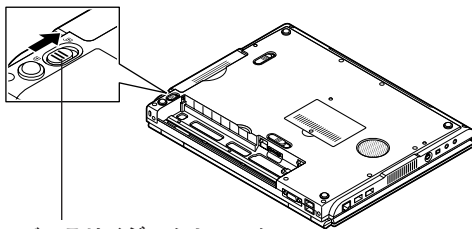
- **添付品の接続をするときは、コネクタの端子に触れない**

  故障の原因となります。

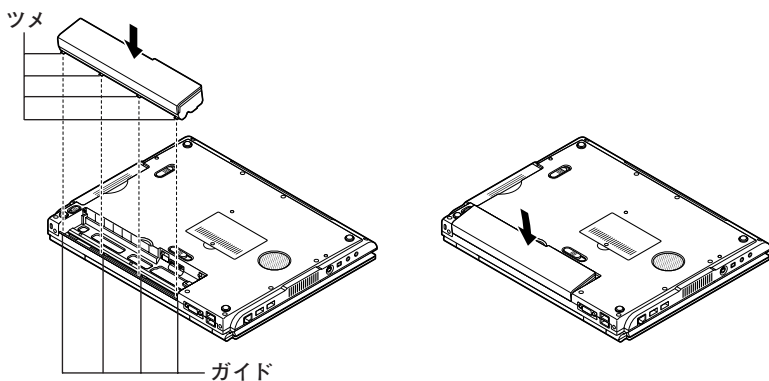
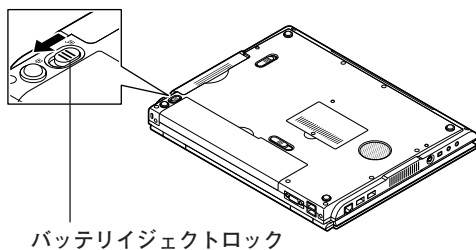
添付品の接続方法

1. バッテリパックを取り付ける

❶本機を裏返す

❷バッテリイジェクトロックを矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除する

❸本機にバッテリパックを取り付ける

バッテリパックのツメと本体のガイドを合わせ、カチッと音がするまでしっかり取り付けてください。

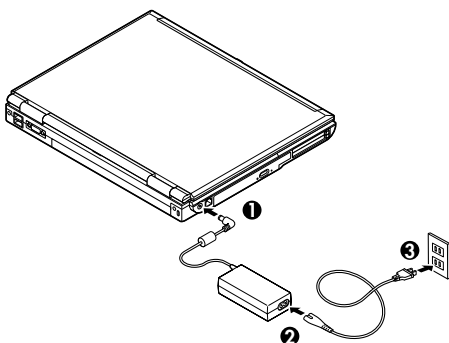
取り付けるときは、バッテリパックの向きに注意してください。

❹バッテリイジェクトロックを矢印の方向にスライドさせ、バッテリパックをロックする

2. ACアダプタを取り付ける

- ご購入直後は、バッテリ駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことがあります。
  必ず、フル充電してから使用してください。
- Windowsのセットアップが終わるまで、ACアダプタを抜かないでください。

❶本機左側面の電源コネクタ(⎓)に、ACアダプタ(PC-VP-BP20-01)を差し込む

❷電源コードをACアダプタに接続する

❸電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

ACアダプタを取り付けると、自動的にバッテリの充電が始まり、バッテリ充電ランプ(▭)が青色に点灯します。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプ(▭)が消灯します。

バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(▭)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。

セットアップをするときの注意

- **周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、「4　添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器（プリンタや増設メモリなど）の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「5　Windowsのセットアップ」から「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- **LANケーブル（別売）は接続しない、無線LAN機能はオフにする**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。
  また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください（工場出荷時の状態では、無線LAN機能はオフになっています）。

- **システム設定を変更しない**
  Windowsのセットアップが終了するまではシステム設定を変更しないでください。システム設定を変更すると、Windowsのセットアップが正常に終了しない場合があります。

- **途中で電源を切らない**
  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

- **セットアップ中は放置しない**
  Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまで、セットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

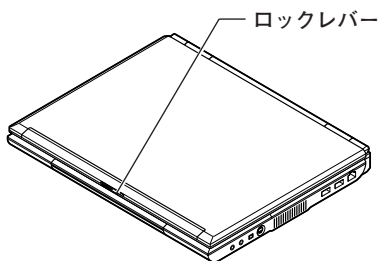
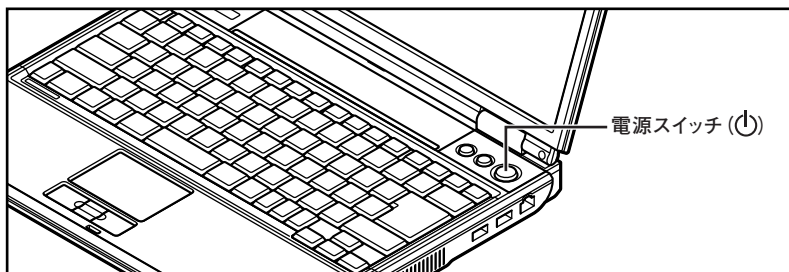
障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.22「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

❶本機のふたを開ける

ロックレバーを右にスライドさせたまま、ふたを持ち上げます。

❷本機の電源を入れる

チェック!!

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。
これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
※:社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を「付録」の「仕様一覧」に記載しています。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、次の「1. Windows XP Professionalのセットアップ」、またはp.21「2. Windows XP Home Editionのセットアップ」に進んでください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④〜⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❿「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⓫「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、p.22「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④、⑤の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

（同意しない場合セットアップは続行できません）

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❼「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❾「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、次の「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

以上でWindowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワーク接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
p.24「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

電源コードの接続が不完全であることが考えられるので、一度電源コードをコンセントから抜き、本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込む

電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本機の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの画面が表示されない

初めて本機の電源を入れたときに、「Press〈F1〉to resume,〈F2〉to Setup」または「〈F1〉キーを押すと継続、〈F2〉キーを押すとセットアップを起動します。」と表示された場合は、次の手順に従ってください。

❶【F2】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❷【F5】、【F6】で時間(24時間形式)を設定し【ENTER】を押す

時刻の値は数字キーでも入力できます。

❸同様に分、秒、月、日、年(西暦)を順に設定する

言語を日本語に設定している場合は、時、分、秒、年(西暦)、月、日の順に設定します。

❹【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❺「Yes」を選び、【ENTER】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❻【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❼「Yes」を選び、【ENTER】を押す

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、p.19「セットアップの作業手順」をご覧になり、作業を続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源を入れて、表示される画面をチェックする

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます(CHKDSKは実行されない場合もあります)。
セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制的に終了する

いったん電源を切った後で、電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。その後、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワーク接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
次のページの「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

本機にインストールされているOSでは標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❷Windows Update、またはMicrosoft Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Update、またはMicrosoft Updateで「優先度の高い更新プログラム」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

Microsoft Updateについて、詳しくはマイクロソフト サポート技術情報-902296をご覧ください。

参照 **マイクロソフトのサポート技術情報について**
「Microsoft Updateを利用するには」
http://support.microsoft.com/kb/902296/ja/

❸ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルスバスター)が添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルスバスターをインストールすることを推奨します。

ウイルスバスターはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルスパターンファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルスパターンファイルの無償提供期間はアップデート機能の有効化後、90日間です。引き続きお使いになる場合は、ウイルスバスターのウイルスパターンファイルなどを1年間更新できる権利を購入する必要があります。

ウイルスバスターについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルスバスター」をご覧ください。

メモ

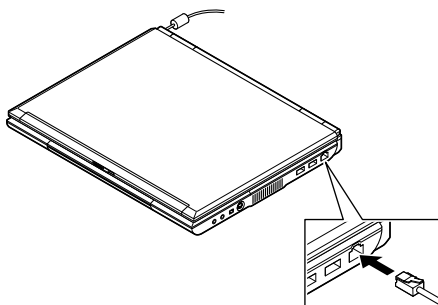
Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Microsoft Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続する場合は、次の「2. LANケーブル(別売)を接続する」へ進んでください。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

❶本機の電源を切り、LANケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

❷ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続し、本機の電源を入れる

以上でLANケーブルの接続は完了です。
次のページの「6　お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街(お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

- VersaPro Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC 8番街(お客様登録)」からでも登録することができます。
- Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」をご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次のページの「7　マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」の使用方法については、p.29「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●**『安全にお使いいただくために』**
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●**『活用ガイド　再セットアップ編』**
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●**『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVL』　※**
本機の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●**『活用ガイド　ソフトウェア編』　※**
アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(VersaPro JではプリインストールされているOS以外は使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●**選択アプリケーションのマニュアル**
Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●**無線LAN用マニュアル　※**
『無線LAN(IEEE802.11a/b/g)について』
無線LANの各機能について知りたいときにお読みください。

●**『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』**
内蔵指紋センサ(ライン型)をご利用の際にお読みください。

●『セキュリティチップ ユーティリティ マニュアル』 ※

本機のセキュリティチップ機能について確認したいときにお読みください。

●『InfoCage®/モバイル防御 インストールガイド』

モデルによって、『InfoCage®/モバイル防御 インストールガイド』が添付されています(p.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●保証規定&修理に関するご案内

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

CDレスモデルをお使いの場合、別売のCD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブ(VersaBay Ⅳb)が必要になります。

❶CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。

  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名･ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になれません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。

  http://nec8.com/

  「サポート情報」→「商品情報･消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(Mate & VersaPro)の電子マニュアル」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。

  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8　使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用･管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVL』、『活用ガイド　ソフトウェア編』、および『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- 「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2. 「再セットアップ用CD-ROM」の作成について

「再セットアップ用CD-ROM」の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。
「再セットアップ用CD-ROM」を作成する場合は、必ずService PackやDigitalMediaのアップデート前に作成してください。
「再セットアップ用CD-ROM」作成についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

3. Windows XPのService Packについて

本機にはService Pack 2がインストールされています。
Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2を削除する場合は十分に注意してください(使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「「Service Pack」について」をご覧ください)。

4. 不正使用/盗難防止について

スーパバイザ/ユーザパスワード、盗難防止用ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、盗難にあってもハードディスクドライブのデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、本機や内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(盗難防止用ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVL』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能/マネジメント機能」をご覧ください。

5. 省電力機能について

パワーモードチェンジャー

「パワーモードチェンジャー」をインストールすることで、CPUの速度やバッテリの状況の確認、電源設定の設定および省電力機能の設定を簡単に行えます。

詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVL』の「PART1　本体の構成各部」の「電源」の「パワーモードチェンジャーを使用する」をご覧ください。

Intel SpeedStep® テクノロジー

電源の種類やCPUの動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。
詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVL』の「PART1　本体の構成各部」の「電源」の「Intel SpeedStep® テクノロジー」をご覧ください。

6. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

❶StandbyDisk

StandbyDiskは「InfoCage®/モバイル防御」と併用することはできません。

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的(日/週/月単位等)に、バックアップできます。
バックアップをとることにより、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。
StandbyDiskは「セカンドハードディスク（StandbyDisk付）」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

❷StandbyDisk Solo RB

StandbyDisk Solo RBは「InfoCage®/モバイル防御」と併用することはできません。

ハードディスク内にある第1パーティション(システムドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。

稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

次の方法で「StandbyDisk Solo RB インストールガイド」を起動し、StandbyDisk Solo RBをインストールしてください。なお、StandbyDisk Solo RB は、VersaProのみ使用できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

また、WebサイトからStandbyDisk Solo RBの上位互換ソフトウェアであるStandbyDisk Soloにアップグレードすることができます(有償)。

http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/

7. LANDesk Management Agentのセットアップについて

LANDesk Management Agent は LANDesk Software Ltd. から販売されている LANDesk® Management Suite(別売)を使用して LANDesk® Management Suite クライアントエージェントのリモートインストールをサポートするアプリケーションです。
LANDesk Management Suite クライアントエージェントをインストールすることにより、LANDesk Management Suite による管理を可能にし、情報機器のソフトウェア、およびハードウェアの資産管理、セキュリティパッチの適用状況、OSやアプリケーションの更新などができます。
LANDesk Management Agent のセットアップ方法については、本体添付の「アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM」内の「LDMA」ディレクトリの「SETUP.TXT」をご覧ください。
なお、LANDesk Management Agent は VersaPro の Windows XP Professional モデルのみ使用できます。

8. セキュリティの設定

❶セキュリティチップ ユーティリティ

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化(EFS)機能、Personal Secure Drive(PSD)機能を利用できます。
本機では、本体にハードウェア的にTPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。
また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。

詳しくは、「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」の「セキュリティチップユーティリティマニュアル」をご覧ください。
なお、セキュリティチップ ユーティリティは、Windows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❷IWS™ Desktop Security

IWS™ Desktop Securityは「InfoCage/モバイル防御」と併用することはできません。

IWS™ Desktop Securityは、保護されたWebサイトや文書へのアクセスに必要な情報(ユーザID、パスワードなど)をセキュリティチップ(以下、TPM)と連携し安全に格納・管理し、必要に応じて自動入力することができます。
また、TPMと連携することで、大切なファイルの保護(暗号化)や、Windowsログオン時のセキュリティを強化することができます。内蔵指紋センサをご使用の場合は、指紋認証機能によるWindowsログオンも可能です。
詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「IWS™ Desktop Security」をご覧ください。
なお、IWS™ Desktop Securityは、Windows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❸暗号化ファイルシステム(EFS)

EFS(Encrypting File System)は、Windows XP Professionalの標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザ以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。
また、Windows XP Professionalインストールモデルでは、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」を使用することにより、暗号化ファイルシステムを簡単に設定することができます。

詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ハードディスク暗号化ユーティリティ」をご覧ください。
なお、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」はWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❹指紋認証機能

指紋認証機能とはパスワードの入力のかわりに、内蔵指紋センサ(ライン型)を使って指紋による認証を行うシステムです。
本機ではIWS™ Desktop Securityと連携して、Windowsのセキュリティを強化できます。
内蔵指紋センサ(ライン型)の使用方法については、『指紋センサ(ライン型)ユーザーズガイド』をご覧ください。

9. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。
また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド 再セットアップ編』を、その他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルの予防」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVL』の「PART4　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

10.保証期間と保守について

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。
初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは次の方法で確認できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

区分	項目	細目	VY17F/LV-X VJ17F/LV-X	VY17F/LX-X VJ17F/LX-X	VY16M/LX-X VJ16M/LX-X
型名*1			VY17F/LV-X VJ17F/LV-X	VY17F/LX-X VJ17F/LX-X	VY16M/LX-X VJ16M/LX-X
CPU*20			インテル® Pentium® M プロセッサー 740 (拡張版Intel SpeedStep®テクノロジー*14搭載)		インテル® Celeron® M プロセッサー 380
CPU	クロック周波数		1.73GHz		1.60GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		インストラクション用32KB/データ用32KB		
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	2次		2,048KB		1,024KB
システムバス			533MHz(メモリバス:533MHz)		400MHz (メモリバス:533MHz)
チップセット			ATI社製 Radeon® Xpress 200M/IXP 400		
セキュリティチップ*31			TPM v1.1b準拠		
最大メモリ(メインメモリ)			1,536MB*86 [SO-DIMMスロット×1]		
表示機能	表示素子*21		14.1型TFTカラー液晶(SXGA+)	14.1型TFTカラー液晶(XGA)	
表示機能	表示素子*21	LCDドット抜け*23	0.00014% 以下	0.00026% 以下	
表示機能	グラフィックアクセラレータ		ATI社製 Radeon® Xpress 200Mに内蔵(デュアルディスプレイ機能*4、ハードウェアT&L機能*10、スムージング機能、画面回転機能をサポート)		
表示機能	グラフィックアクセラレータ	ビデオRAM	32/64/128MB(BIOSセットアップユーティリティにて変更可能、メインメモリを使用)*5		
表示機能	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	800×600ドット<SVGA>	最大1,677万色*13(最大1,677万色)		
表示機能	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	1,024×768ドット<XGA>	最大1,677万色*13(最大1,677万色)		
表示機能	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	1,280×1,024ドット<SXGA>	最大1,677万色*13(最大1,677万色) ※XGAではバーチャルスクリーン機能により実現		
表示機能	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	1,400×1,050ドット<SXGA+>	最大1,677万色*13	−(−)	
表示機能	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	1,600×1,200ドット<UXGA>	最大1,677万色*13(最大1,677万色) ※バーチャルスクリーン機能により実現		
表示機能	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	1,920×1,440ドット	最大1,677万色*13(最大1,677万色)※バーチャルスクリーン機能により実現		
サウンド機能	音源／サウンド機能		PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz)、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI[GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*15])、マイクノイズ除去機能、3Dポジショナルサウンド		
サウンド機能	スピーカ／スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ/1W+1W		
サウンド機能	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載		
通信機能	LAN		標準内蔵(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tに対応)		
通信機能	FAXモデム*40	モデム	モデム内蔵(データ転送速度 最大56kbps(V.90)エラー訂正V.42/MNP4データ圧縮V.42bis/MNP5)		
通信機能	FAXモデム*40	FAX	内蔵(データ転送速度 最大14.4kbps (V.17)FAX制御クラス1)		
入力装置	キーボード		本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)、Fnキー(ホットキー対応)、 12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・右Ctrlキー付		
入力装置	ワンタッチスタートボタン		任意のアプリケーションを登録可能なワンタッチスタートボタンを2つ装備(出荷時はMicrosoft® Internet Explorer、Outlook Expressを登録済み)		
入力装置	ポインティングデバイス		スクロール機能付NXパッド標準装備		
インターフェイス	IEEE1394		IEEE1394×1(4ピン)		
インターフェイス	USB		4(右側面×2、背面×2)、USB2.0対応		
インターフェイス	TV-OUT端子		TV-OUT端子(Sビデオ端子)×1		
インターフェイス	ディスプレイ		外部ディスプレイコネクタ(アナログRGB) ミニD-sub15ピン×1		
インターフェイス	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1、RJ11モジュラコネクタ×1(FAXモデム)		
インターフェイス	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)		
インターフェイス	サウンド関連	ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (ヘッドフォン出力インピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
インターフェイス	サウンド関連	ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)		

型名＊1	VY17F/LV-X VJ17F/LV-X	VY17F/LX-X VJ17F/LX-X	VY16M/LX-X VJ16M/LX-X
PC カードスロット	Type Ⅰ/Ⅱ×2(Type Ⅲ×1 スロットとしても使用可能)＊25、 PC Card Standard 準拠、CardBus 対応		
拡張ベイ	VersaBay Ⅳb		
パワーマネジメント	自動または任意設定可能 (CPU 制御＊20、HDD 制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能)		
電源	リチウムイオンバッテリパック(DC11.1V,5200mAh)(バッテリパックは消耗品です)、 セカンドバッテリパック(DC11.1V,3800mAh)(バッテリパックは消耗品です) または AC100V ± 10%、50/60Hz(AC アダプタ経由) [AC アダプタ自体は、入力電圧 AC240V までの安全規格を取得していますが、添付の電源コードは AC100V 用(日本仕様)です。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。]		
消費電力＊29(最大構成時)	約 18W(約 60W)	約 16W(約 60W)	約 24W(約 60W)
エネルギー消費効率 (省エネ基準達成率)＊3＊29	S 区分 0.00027 (AAA)		S 区分 0.00031 (AAA)
電波障害対策	VCCI ClassB		
外形寸法(突起部含まず)	310(W)× 258(D)× 27.5 ～ 34.5＊6(H)mm		
質量(標準バッテリ含む)＊8	約 1.92kg＊42	約 1.83kg＊42	
温湿度条件	5 ～ 35℃、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)		
インストール可能 OS ＊17＊24＊27	Windows® XP Professional(SP2)、Windows® XP Home Edition(SP2)、 Windows® 2000 Professional(SP4)		
主な添付品	AC アダプタ、拡張ベイカバー、アプリケーション CD-ROM/ マニュアル CD-ROM＊17、 印刷マニュアル類、保証書 他		

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の「型番を控える」をご覧ください。
＊ 3：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語 A は達成率 100% 以上 200% 未満、AA は達成率 200% 以上 500% 未満、AAA は達成率 500% 以上を示します。
＊ 4：本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。
＊ 5：ビデオ RAM128MB でご使用になる場合は、メインメモリを 512MB 以上に増設する必要があります。メインメモリ容量が 1,024MB 以上の場合には、ビデオ RAM は 128MB 固定になります。
＊ 6：最薄部～最厚部。ゴム足部、上蓋エンブレムの突起部を除く。
＊ 8：PC カードは未装着。
＊10：3D 描画演算時に「変換処理(Transform)」「照明処理(Lighting)」をハードウェアで支援する機能。ソフトウェア(CPU)演算による描画に比べ、より高度な描画演算が可能になり、グラフィック描画品質が向上します。なお、本機能は対応するソフトウェア(DirectX、Direct3D 対応)との組み合わせで有効な機能です。
＊11：表示素子(本体液晶ディスプレイ)より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶画面全体に表示可能。拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。
＊12：本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同画面表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
＊13：1,677 万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現。
＊14：プリインストール OS 以外の OS 環境では、拡張版 Intel SpeedStep® 機能が使用できない場合があります。
＊15：DLS は「DownLoadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。
＊17：セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能な CD-ROM 系機器が必要です。
＊20：使用環境や負荷により CPU 動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。
＊21：液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。なお、ドット抜けについては＊ 23 もご覧ください。
＊23：ドット抜け割合の基準値は ISO13406-2 の基準に従って、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。詳細は http://nec8.com/products/pc/lcddot.html をご参照ください。
＊24：インストール可能 OS 用ドライバは本体に添付しておりません。また、VersaPro J ではプリインストールされている OS 以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS 情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネス PC(Mate&VersaPro)/ プリンタ(MultiWriter&MultiImpact)/PC 周辺機器」の「インストール可能 OS 用ドライバ(サポート OS 用ドライバ)」の「VersaPro」に順次掲載いたします。なお、インストール可能 OS をご利用の際、「インストール / 添付アプリケーション」がご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に「インストール可能 OS をご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊25：セレクションメニューにて内蔵指紋センサを選択した場合は、Type Ⅰ/Ⅱ× 1 スロット(Type Ⅲは使用不可)。

＊27：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊29：OSはWindows® XP Professional、メモリ256MB(エネルギー消費効率はメモリ1,536MB)、ハードディスク40GB、CD-ROM系ドライブなしの構成で測定。

＊31：プリインストールのWindows® XP Professional以外では使用できません。

＊40：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。内蔵FAXモデムの海外で利用可能な地域など詳細はhttp://nec8.com/products/versapro/modem.htmlにてご確認ください。

＊42：拡張ベイに、拡張ベイカバー(約20g)装着時の質量。CD-ROMドライブ装着時の質量はVY17F/LV-XおよびVJ17F/LV-Xでは約2.08kg、VY17F/LX-X、VJ17F/LX-X、VY16M/LX-XおよびVJ16M/LX-Xでは約1.99kgとなります。質量は内蔵するドライブ等により変わります。

＊86：セレクションメニューでメモリ256MB、512MB(オンボード256MB+256MB×1)または768MBを選択した場合は、最大メモリ1,280MBとなります。

◆セレクションメニュー＊51

型名＊1		VY17F/LV-X VJ17F/LV-X	VY17F/LX-X VJ17F/LX-X	VY16M/LX-X VJ16M/LX-X
再セットアップ用データ＊52	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納 ＊53		
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM＊54添付		
メモリ＊57	256MB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB＊86		
	512MB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+256MB SO-DIMM ×1＊79＊86		
	512MB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード512MB		
	768MB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+512MB SO-DIMM ×1＊86		
	1GB (1,024MB)	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード512MB+512MB SO-DIMM ×1＊79		
	1,536MB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード512MB+1,024MB SO-DIMM ×1		
通信機能	無線LAN (IEEE802.11a/b/g)＊60＊84	IEEE802.11a/b/g準拠＊58＊74、WPA2対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)〕		
マウス	USBマウス(ボール)	USBマウス(ボール式、スクロールホイール付き)(ケーブル長：約80cm)		
	USBマウス(光センサー)	USBマウス(光センサー式＊85、スクロールホイール付き)(ケーブル長：約80cm)		
FDD		USB接続(USB1.1準拠)外付け、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応＊72		
ハードディスク	40GB	約40GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応		
	80GB	約80GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応		
	100GB	約100GB＊63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応		
増設ハードディスク＊64	40GB	約40GB、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応		
	80GB	約80GB、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応		
CD-ROM系＊61＊66	CD-ROM	内蔵(VersaBay Ⅳb)、最大24倍速(最内周10倍速、最外周24倍速)		
	CD-R/RW with DVD-ROM ＊65＊67＊90	内蔵(VersaBay Ⅳb)、CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み：最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み：最大4倍速、DVD-RAM読み込み：最大2倍速＊76＊93		
	DVDスーパーマルチドライブ＊65＊67＊90	内蔵(VersaBay Ⅳb)、CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み：最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み：最大8倍速＊77、DVD-R(2層)読み込み：最大4倍速、DVD-R(2層)書き込み：最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み：最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み：最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み：最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み：最大4倍速、DVD-RW書き換え：最大6倍速＊78、DVD+RW書き換え：最大8倍速、DVD-RAM読み込み：最大5倍速＊76、DVD-RAM書き換え：最大5倍速＊76＊88		
セキュリティ機能	指紋センサ＊55＊80	ライン型。OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などに指紋による認証が可能。		
バッテリ＊62 リチウムイオン	駆動時間(JEITA＊59準拠)	約3.1～4.7時間(約3.9時間)	約3.3～4.9時間(約4.1時間)	約2.5～3.3時間(約2.9時間)
	充電時間(ON時/OFF時)	約3.2時間/約3.1時間		約3.7時間/約3.1時間
バッテリ＊62 リチウムイオン+セカンドバッテリパック	駆動時間(JEITA＊59準拠)	約5.3～7.9時間(約6.6時間)	約5.6～8.2時間(約6.9時間)	約4.2～5.6時間(約4.9時間)
	充電時間(ON時/OFF時)	約5.6時間/約5.6時間		約6.6時間/約5.6時間

＊51：セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っておりません。

＊52：セレクションによっては再セットアップ用CD-ROMは添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jp/をご参照ください。

＊53：HDD内の約3GBを再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊54：再セットアップ用CD-ROMを使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。なお、再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊55：内蔵指紋センサ(ライン型)はプリインストールのWindows® XP Professional以外ではご利用になれません。
＊57：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊58：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。
＊59：JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)
Windows® XP Professional にて測定。
駆動時間＝(測定法a+ 測定法b)/2
測定法a、b共通条件 <条件>
1) 「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ低下アラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ切れアラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。
3) LCD輝度：測定法a に於いて20cdを下回らない値に設定。
測定法a：輝度8段階中下から2段目、測定法b：輝度8段階中下から1段目。
4) 「画面のプロパティ」・「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー(S)」・「(なし)」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。
5) ワイヤレスクライアントマネージャが常駐している場合は終了する。
6) 「セキュリティセンターのプロパティ」・「自動更新」を無効にする。
7) 「セキュリティセンターのプロパティ」・「Windows ファイアウォール」を無効にする。
8) 「セキュリティセンターのプロパティ」・「ヘルプ」・「セキュリティセンターからの警告方法を変更する」のチェックを全て外す。
9) 壁紙を白にする。
10) システム構成ユーティリティを起動し、「全般」タブ内の「スタートアップのオプションを選択(S)」を選択し、「スタートアップの項目を読み込む(O)」のチェックボタンを外す。
11) POWERPLAY™の設定：Battery優先に設定変更する。
測定法a <条件>
1) 動画再生ソフト:Windows Media Player にて連続再生。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3) 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」・「音量」・「デバイスの音量」・「ミュート(M)」のチェックボックスにチェックを入れる。
測定法b <条件>
1) デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る(I)」を「3分後」に設定。他の項目は「なし」に設定。
＊60：業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。
＊61：メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊62：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU動作性能はLOWモード。(インテル® Celeron® M プロセッサを除く。)
＊63：20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約3GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊64：未フォーマットです。
＊65：書き込みツール「DigitalMedia/DLA」が添付されます。
＊66：コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊67：バッファアンダーランエラー防止機能付き。
＊72：1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマット不可。
＊74：Super AG®、Atheros XR® (eXtended Range)に対応。
＊76：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)はご使用できません。また、プリインストールOSの場合、標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
＊77：DVD-RはDVD for General Ver2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊78：DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

＊79： 512MB(オンボード256MB+256MB)または1GBを選択した場合、デュアルチャネルに対応。
＊80： 内蔵指紋センサ(ライン型)とUSBロック機能は同時使用できません。
＊84： 無線LAN(5GHz)は、IEEE802.11a準拠(J52/W52/W53)です。J52/W52/W53は社団法人電子情報技術産業協会による表記です。詳細は http://nec8.com/products/wireless/index.html をご参照ください。無線LAN(5GHz)の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
＊85： 光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊86： セレクションメニューでメモリ256MB、512MB(オンボード256MB+256MB × 1)または768MBを選択した場合は、最大メモリ1,280MBとなります。
＊88： DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています（DVD-RAM12倍速メディアの書き込みはサポートしておりません）。
＊90： DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。
＊93： DVD-RAM12倍速メディアの読み込みはサポートしておりません。

内蔵FAXモデム

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
FAX機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
	同期方式	半2重調歩同期方式
	通信規格*1	ITU-T V.17:14,400/12,000/9,600/7,200bps V.29:9,600/7,200bps V.27ter:4,800/2,400bps V.21ch2:300bps
	送信レベル	−11〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10〜−40dBm
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)
データモデム機能	同期方式	全2重調歩同期方式
	通信規格	ITU-T V.90:56,000〜28,000bps*2 V.34:33,600〜2,400bps V.32bis:14,400〜4,800bps V.32:9,000〜4,800bps V.22bis:2,400/1,200bps V.22:1,200/1,600bps V.21:300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	−11〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10〜−40dBm
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠*3

*1 : 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。
*2 : 送信時は33,600〜2,400bpsになります。
*3 : ATコマンドについては、『ATコマンド一覧』をご覧ください。

内蔵LAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時:1000Mbps
	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時:UTPカテゴリ5e以上
	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク
ステーション間距離/ネットワーク経路長※	1000BASE-T:最大約200m/ステーション間 100BASE-TX:最大約200m/ステーション間 10BASE-T:最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

無線LAN(IEEE802.11a/b/g)は、2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b/g)規格と5GHz無線LAN(IEEE802.11a)規格を切り替えて通信することができる無線LANです。それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。
無線LAN(IEEE802.11a/b/g)は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG™」※4および長距離化技術「Atheros XR™ (eXtended Range)」※5に対応しています。

●2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b/g)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66 ※6
通信速度	IEEE802.11g : 54/48/36/24/18/12/6 (Mbps) ※1 IEEE802.11b : 11/5.5/2/1 (Mbps) ※1
変調方式	OFDM 方式 (54/48/36/24/18/12/6Mbps) DS-SS 方式 (11/5.5/2/1Mbps 時)
無線チャンネル	1 ～ 13ch (アクティブスキャン)
周波数帯域	2.4GHz 帯域 (2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA (TKIP/AES) WPA2 (AES) WEP (鍵長 64bit/128bit/152bit ※2) IEEE802.1X

●5GHz無線LAN(IEEE802.11a)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71 ※6
通信速度	54/48/36/24/18/12/6 (Mbps) ※1
変調方式	OFDM 方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch (アクティブスキャン) 34ch、38ch、42ch、46ch、52ch、56ch、60ch、64ch(パッシブスキャン)※7
周波数帯域	5GHz 帯域 (5.15 ～ 5.35GHz) ※3
セキュリティ	WPA (TKIP/AES) WPA2 (AES) WEP (鍵長 64bit/128bit/152bit ※2) IEEE802.1X

※1: 各規格による速度(理論値)であり、実行速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※2: 設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bit です。
※3: 5GHz 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※4: Super AG™ 機能を使用するには、接続先の無線 LAN 機器も Super AG™ に対応している必要があります。
※5: Atheros XR™ 機能を使用するには、接続先の無線 LAN 機器も Atheros XR™ に対応している必要があります。
※6: ARIB についての表記の説明は、「「無線 LAN (IEEE802.11a/b/g)」について」- ご注意 をご覧ください。
※7: パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare[SM] International Service]対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。
サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.ultracare.com
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。またその使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の観賞用の使用に制限されています。この製品を分解したり改造することは禁じられています。
(11) 本書に記載しているWebサイトは、2006年4月現在のものです。

初版 2006年 5月

853-810602-225-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。